

1. DXハイスクール 取組事例【福祉科】



北海道置戸高等学校
(公立・福祉科)

福祉社会における諸課題をデータに基づいて解決できる人材の育成

取組

データに基づいた介護技術の習得及び状況判断力の育成

- 「多職種連携ハイブリッドシミュレータ」※を導入し、様々な介護の場面を想定した実習を行うことで、介護技術を習得するとともに、様々な被介護者の訴えに対処できる状況判断力を養う。

※生体情報モニター、定型句発声機能などを兼ね備えた生体シミュレータ。身体の状態（顔色、体温、酸素濃度、咳や嘔吐、目眩など）を設定することで、実習体験の場面を具体的に再現することができる。



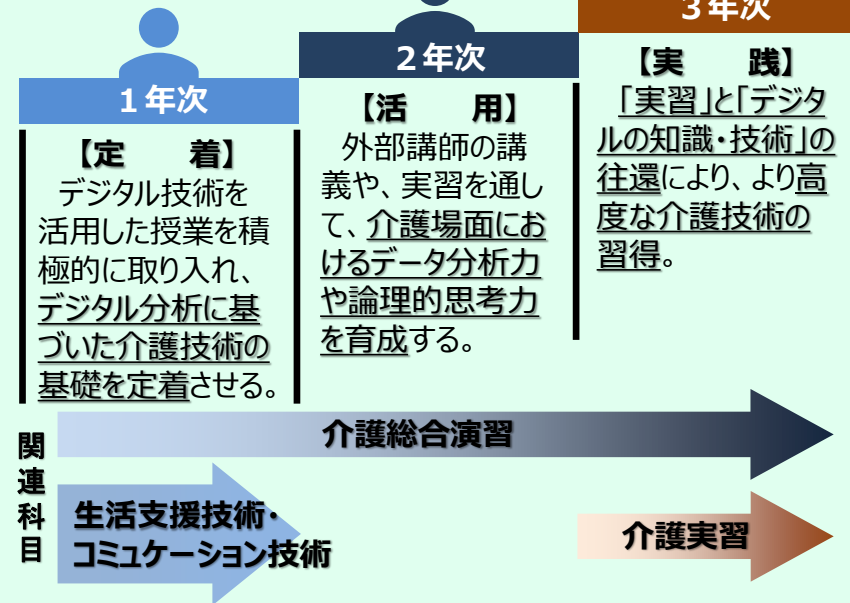
(イメージ)

- データ管理システムの活用により、介護場面のデータの分析や共有を行い、データに基づくよりよい介護の在り方を探究する。



(イメージ)

【指導計画】



外部講師の活用による専門知識の獲得

- ★ ★ 外部講師（大学教授・福祉施設職員等）を招聘。地域福祉のデータに関する講義や介護技術に関する技術指導、実践的なデータに基づくデータ分析に係る講義を実施。

育成する生徒像・取組による効果



デジタル技術を活用し、分析・比較・検討を通して介護技術の専門性を高めるとともに、デジタル分析のスキルを福祉に生かすことのできる人材

情報Ⅱの内容を含むことにより指導内容を充実させた職業系の教科・科目の履修率（令和10年度目標値**100%**）

医療保健福祉系の学部や看護学部などへの進学率の増加
(令和5年度**10%**→令和8年度目標値**20%**)

2. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組①



データに基づいた介護技術の習得

「介護総合演習」の授業では、「多職種連携ハイブリッドシミュレータ」及び「デブリーフィング&データ管理システム」を活用して、多様な介護場面のデータを分析・共有し、事例検討や調査を行う。北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科の教授等を「介護総合演習」の授業に招聘し、これらのシステムの効果的な活用の仕方を学ぶ。さらに、生徒は、自らが介護している場面を、身体の構造、力学などの知識も取り入れた映像分析から振り返る学習を通して、高度な介護技術の習得を図るとともに、被介護者に寄り添った介護の在り方について理解を深める。

また、情報技術やデータの活用方法と介護技術を結び付けて、新たな介護技術を創造する学習を踏まえ、3年次で実施する「介護実習」において、直面する現実的な課題等を解決する学びを経験する。



補助金を活用する経費

- ・多職種ハイブリッドシミュレータの設置・導入費用
- ・デブリーフィング&データ管理システムの導入費用

育成する資質能力

- ・デジタル技術を活用して、介護に関わるデータを分析・比較・検討することができる介護技術
- ・他職種連携の中でデジタル分析のスキルを福祉に生かす力
- ・デジタル技術と介護技術を結び付けて新たな介護技術を創造する力

3. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組②



外部講師の活用による専門知識の獲得

北海道文教大学人間科学部地域未来学科の木村俊昭教授を1、2年次で実施する「社会福祉基礎」の授業に招聘し、北海道内の各自治体における高齢化率の今後の推移や、高齢者の障がいの種別ごとの割合、疾病の種類などのデータを分析し、被介護者のニーズに応じた対応方法など、専門知識の獲得を目指す。また、社会福祉法人友愛福祉会特別養護老人ホーム静苑ホームや札幌西円山病院の職員による、介護技術に関する技術指導、実践的なデータに基づくデータ分析に係る講義を通して、介護現場の現状について理解を深める。

「社会福祉基礎」で活用したデータの中で、自らの興味・関心に基づいて課題を設定し、「介護総合演習」において、「多職種ハイブリッドシミュレータ」を活用しながらデータを分析し、被介護者のニーズに応じた最適な介助方法を学習するとともに、介護予防の推進に必要な取組等についてグループでの協議等を通して理解を深める。



補助金を活用する経費

- ・講師招聘費用（旅費・謝金）
- ・多職種ハイブリッドシミュレータの設置・導入費用
- ・デブリーフィング&データ管理システムの導入費用

- ・大学教授や福祉施設等職員からの遠隔授業による介護支援に必要な専門的知識
- ・デジタル技術を活用して、介護に関わるデータを分析・比較・検討することができる介護技術
- ・他職種連携の中でデジタル分析のスキルを福祉に生かす力

4. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第1学年

年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
6月 ～ 11月	○介護総合演習 「多職種連携ハイブリッドシミュレータ「デブリーフィング&データ管理システム」を 既存の介護実習設備に取り入れた介護実習	○多職種連携ハイブリッドシミュレータを用いた介護実習 ○デブリーフィング&データ管理システムを用いた介護実習 ○福祉施設等の専門人材を交えた協議	○デジタル分析に基づいた基礎的な介護技術の定着 ○介護データ等を用いて実習で直面する課題等を解決しようとする力の向上
年間	○生活支援技術 「介護総合実習」との科目横断的取組による連携 ○コミュニケーション技術 「介護総合実習」との科目横断的取組による連携	○多職種連携ハイブリッドシミュレータの活用 ○デブリーフィング&データ管理システムの活用	○論理的思考力・問題解決能力の向上

5. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第2学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
6月 ～ 9月	○社会福祉基礎 ・地域福祉の介護データに関する講義	○大学教員の招聘による 地域の介護データ分析に 係る講義の実施	○専門的な介護技術の 向上、実践的なデータに 基づくデータ分析の理解 促進
10月 ～ 12月	○介護総合演習 ・福祉施設等職員による、 介護技術に関する技術指 導、実践的なデータ分析に 関する学習 ・多職種連携ハイブリッドシ ミュレータ、デブリーフィ ング&データ管理システムを 取り入れた介護実習	○大学教員を招聘し、 データ活用に関する専門 的な演習の実施 ○福祉施設等の専門人 材を交えた協議 ○多職種連携ハイブリッ ドシミュレータの活用 ○デブリーフィング&デー タ管理システムの活用	○論理的思考力・問題解 決能力の向上 ○データサイエンス・情報 活用能力の向上 ○最適な介護方法を分析 する力の向上

6. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第3学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
6月 ～ 9月 10月 ～ 11月	○介護総合演習 ・福祉施設等職員による、地域福祉におけるデータの活用に関する講義 ・介護実習における介護技術のデータ分析 ・大学教授による、地域福祉に関する高度なデータ分析の演習 ・実践発表会の実施	○介護実習において、「多職種連携ハイブリッドシミュレータ」で設定した被介護者モデルを活用 ○「デブリーフィング＆データ管理システム」で記録したデータを蓄積して、事例を類型で分類 ○「介護実習」において収集したデータを入力して、演習で活用	○論理的思考力・問題解決能力・批判的思考力の向上 ○データサイエンス・情報活用能力の向上 ○科学的根拠に基づいた応用的・発展的な介護技術の向上
年間	○介護実習 ・介護実習における介護技術のデータ分析 ・介護実習後の介護総合演習における事例検討、振り返り	○「介護総合演習」におけるデータを共有し、「介護実習」で活用	○デジタル技術と介護技術を結び付けて新たな介護技術を創造できる力の向上

7. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



教職員の年間計画

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容
6月 ～ 9月	○データ分析の基礎を学習 ○情報システムやAIを活用した介助方法について検討を行うなど、数学、理科、情報などの他教科と連携しながらICT活用を推進	○北翔大学及び北海道文教大学から講師を招聘し研修を実施 ○工業系大学等の講師の招聘や教職員の派遣研修を実施
年間	○ICT機器利用技術指導のための教員研修実施	○ICT支援員及び外部講師による定期的な講習・研修